

# 停

四年  
画数 11  
筆順  
オン  
クン

イ 伫 停 停  
テイ

成り立ち



↓ 亭 ↓ 停 ↓ 停 ↓ 停

高どのの形を表した「声」に旅人がとまることを表す  
テイという音を表した「丁」を加えた「亭」は、「旅人が  
とまる『宿屋』」という意味の字です。

「亭」と「イ」とを組み合わせて作った「停」という  
字は、「人が宿屋に」とまる「こと」を表した字です。し  
かし、今では、たんに「とまる」という意味に使われま  
す。【例】停止、停車、停電。

また、物事をとちゆうで「やめる」ことの意味にも使  
われます。【例】停戦、停学。

使い方

▽急に電車が駄でない所に停車したので、どうしたのか  
と思つたら、機械の故障で停電したためだそうです。

熟語例

▽停止（とまること。「信号が赤に変わったので停止し  
た」などというふうには、つかいません。）

▽停車（車をとめること。）

▽停電（電気がとまること。「落雷で停電したので、あわ  
ててろうそくをつけた」などというふうには、つかいま  
す。）

▽停戦（一時、戦争をやめること。「クリスマス停戦のあ  
と、両国は再び戦闘状態に入った」などというふうには、  
つかいません。）

▽停学（学校が、規律に違反した生徒の登校を禁止する  
こと。）

▽停年（会社や役所などに勤めている人が、勤めをやめ  
るきまりになっている年齢。「定年」とも書きます。「ぼ  
くのおとうさんは、来年停年で会社をやめます」など  
というふうには、つかいません。）

使い方

▽弓的を射たら、見事に的中しました。標的が大きい  
ので、当たりやすいのです。

熟語例

▽的確（はつきりとしていて、確実なこと。「的確な指示  
をくだす」などというふうには、つかいません。）

▽標的（鉄砲や弓などの練習につかう的）

▽金的（弓で射る金色的。また、だれでもそこに当て  
たいと思うるので、皆があこがれているもの。たと  
えにつかわれます。「金的を射る」といえば、皆がうら  
やましがらうようなことを、うまくやった時につかう言  
葉です。）

▽的中（矢が的に当たること。また、予想や判断がぴた  
りと当たること。「予報が的中して、雨が降って来た」  
などというふうには、つかいません。）

▽目的（目指している物事。めあて。「あたりが暗くなっ  
てから、やっと目的のキャンプ地に到着した」などと  
いうふうには、つかいません。）

# 的

四年  
画数 8  
筆順  
オン  
クン

イ 白 的 的

成り立ち



↓ 的 ↓ 的 ↓ 的 ↓ 的

物をくみ取る道具の「ひしやく」の形を表した「勺」  
と、日の光を表した「白」とを組み合わせて作った字で  
す。

「日の光をくみ取る」という意味の字で、「物がはつき  
りとしている（明白）」という意味に使われます。【例】確  
弓の「ま」と「は」、「はつきりと目につく」ようにかかげ  
るところから、「ま」と「の」の意味に使われます。【例】標的、金  
的、的中。

「目ざす物事」の意味にも使われます。【例】目的。  
また、「……のような」「……の性質をもった」という  
意味にも使われます。【例】科学的な見方、理想の人間像。